



平成29年度第3学期終業式が、3月23日(金)に本校体育館において行われました。校長式辞で荻野校長が述べられた内容の一部を紹介します。

(前略)

先日、3月8日の卒業式、卒業生354名の新たな門出を厳粛で温かい雰囲気の中で見送ることができました。これも1・2年生の皆さんが、心から先輩の卒業を祝ってくれたおかげです。感謝しています。ありがとうございました。

(中略: 近隣小中学校卒業式に参列した時の話)



私は皆さんに、ことあるごとに「夢」を持ちなさいと言い続けています。小学生のころのように「夢」を他人の前で発表する機会もないでしょうが、将来の目標となるべき「夢」を持ってください。まだという人は、「夢」探しは、ただ待っていてもだめですよ。自分から色々なことに興味を持って動き回らなければ「夢」って見つかりませんよ。与えられるものではありません。いつも言うことですが、本を読みなさい。映画をみるのもよいでしょう。芸術作品に触れるため美術館、博物館に行くのもよいでしょう。スポーツをするのも観戦するのもよいでしょう。夜空や自然現象に興味を持つのもよいでしょう。いろいろな分野の人の話を聴きましょう。とにかく好奇心を持ってください。



様々な「夢」探しがありますが、お手軽はやはり読書です。ところがその読書について、悲しいデータを先日新聞で読みました。昨年の全国の大学30校の調査データで1日の読書時間が「ゼロ」の大学生が半数以上というものでした。大学生の1日の平均読書時間は51分ほどで、前年より2分半増えているデータもあり、完全に本を読む人と読まない人の2極化が進んでいるということらしいです。読書をするかしないかは、高校生の頃の読書習慣によると書いてありました。習慣を付けるなら「今」ということです。

(中略: スマートフォンの影響)



読書を勧めるのは、文字をおいながら自分の頭の中で情報を認知し、新しい発見や創造が生まれるからです。直接画像を見るのではなく、頭の中で描く世界は、人それぞれ自由な世界です。誰にも邪魔されない、自分独自の世界です。その中で、少しでも気になったことには、好奇心を持って熱中することができます。「夢」はその先にあります。

高校3年生の夏に、小学生の頃のように、自分の進路希望を自信持って大声で、みんなに発表できるように、高校生活の中で、自分から色々なことに興味を持って動き回ってください。

4月に入ってから、春休みにこんな本を読みましたという報告を校長室にしてくれる人がいることを期待しています。



式辞を述べる荻野校長